

第50回稲城市スポーツ大会 少年の部 競技実施要項

1. 参加資格

2022年度稲城市サッカー連盟加盟の4種チームで、準備・後片付けに参加できる事。

2. 競技規則

以下に特に記載の無い場合は、日本サッカー協会2021-2022年度『サッカー競技規則』に準ずる。試合会場は総合G・長峰VF・南多摩G・南多摩覆蓋G(低学年のみ&スパイク禁止) 退場者については次の試合1試合のみを出場停止とする。

3. 基本の試合時間(熱中症対策などにより変更の場合有り)

1年生：予選・決勝10分ハーフ

2年生：予選・決勝12分ハーフ

3年生：予選・決勝15分ハーフ

4年生：予選・決勝15分ハーフ

5年生：予選・決勝T20分ハーフ、但し決勝T1回戦のみ15分ハーフ

6年生：予選・決勝T1回戦は15分ハーフ、準決勝以降とフレンドリーは20分ハーフ
いずれの試合もインターバル(前半終了及び後半開始のホイッスル間)は5分とする。

4. 試合

別途定める各学年ごとの組み合わせ表に基づき、リーグ戦やトーナメント戦により優勝以下を決定する。

1年生は5人又は6人制、2年生から6年生は8人制とする。

試合の成立、試合開始時に7名(1年生は4or5名)が出場している状態であること。試合中にけがなどにより7名(1年生は4or5名)以下となった場合その試合は続行する。

試合が不成立となったときはその試合を「5:0」(リーグ戦)とみなす。

リーグ戦の順位については、以下にて決定する。

勝ち点の扱い 勝：3、引分：1、負：0

順位の優先順位：①勝ち点 ②得失点差 ③総得点 ④直接対決の結果 ⑤トス

トーナメントにおいて同点の場合はPK戦により決定する。各3名。以降サドンデス。

5. グラウンドのサイズ

別途定める「グラウンドサイズ」による。

6. 会場運営(各チームに割り当てられます)

(1) 会場運営のチームは各学年ごとの組み合わせ表に記載のチームが担当する。

(2) 南多摩Gや覆蓋Gでの選手・父兄の集合は第一試合開始1時間前以降とする。

総合Gでは選手と父兄は8:45から、長峰VFでは8:30から入場可となる。

(3) 当日試合のあるチームのコーチについて南多摩Gや覆蓋Gでは第一試合開始1時間半前(長峰VFと総合Gは朝8時30分)に集合し、全チームの協力によりグラウンドの準備や後片付けを行う。

午前午後でチームが分かれる場合は、午前のチームでグラウンドの準備を行い、午後のチ

ームで後片付けを行う。

(4) 会場運営チームの役割(各日2チームで運営に当たるのでチーム間で分担可)

① 南多摩スポーツ広場では、入り口の鍵を第一試合開始1時間30分前に開錠するので同時刻に集合。他グラウンドはそれぞれの開場時間に合わせて指定する。

② 当日の試合進行表をA3に拡大し、掲示する。

③ 空気圧系、空気入れ、WBGT計、審判・本部要員用に飲料水を用意する。

④ 南多摩G・南多摩覆蓋Gにおいては(別途指示がある場合を除いて)

A駐車場より先へは本部・運営(1台)以外の車を入場させない。

⑤ 総合Gにおいては

試合の行われる週の木曜日までに体育館へグラウンドのライン引きを依頼する。

選手と父兄など観戦者は8:45以前には入場しないよう制限する。

⑥ 試合進行表に試合結果・審判チームを記載し、少年部長に報告する。

⑦ 試合終了後、全チームの退出後グラウンド状況を確認し、南多摩&覆蓋Gでは施錠する。

⑧ 石灰の残数が3袋以下の場合は少年部長に連絡する。(南多摩G)

また使用済み石灰袋は運営担当チームが持って帰り処分する。

⑨ 南多摩グラウンドでは最後の2試合のチームの選手及びスタッフに、芝の修復のため、掘れたところに砂を入れる作業をするよう指示する。

7. 出場チームの構成

別途定める「チーム登録条件」を参照。

8. ベンチ入り

選手の人数制限は設けない。ベンチ入りスタッフは5名以下とする。応援の父母とは明確に分離する。感染症対策など入場制限のある場合は別途指示する。

9. 交代

FPは交代ゾーンからの「自由な交代」とするが、GKは競技規則通りの手順で行う。

10. ボール

ボールは4号縫いボールとし、2年生以下は「0.6kg/cm²」・3～6年生は「0.8kg/cm²」に調整したものを当該チームが持ち寄る。

11. ユニフォーム

FP・GKともに正副(原則として袖の有るシャツ・ショーツ・ソックス)を用意し、それぞれが容易に識別できるものであること。色については黒のショーツ・ソックスを認める。当日の試合でFKと代わる予定があるGKは最初からショーツとソックスはFPの物を着用しても良いが、交代の予定が無いのにFPと同じショーツとソックスの着用は不可とする。アンダーシャツ・アンダーショーツ(タイツ)の色は問わないが、チーム内で統一する事。外部に装着するソックステープなどの色はソックスと異色も可で、チーム内統一も不要。GKの予期せぬ事態でFP選手との交代で、その場に適応したユニフォームが無い場合は、他選手との色別や安全性を備えたシャツの着用を認めるが、ビブスは原則認めない。

1 2. その他

- ・疑義が生じた場合は本部に提起し、出場チーム間で確認を行う。
- ・別紙、少年部新型コロナウイルス感染症対策の遵守する。
- ・本大会自体、または特定チーム、個人を批判することを目的として大会会場内で撮影した写真動画等を公開することは厳禁とする。
動画などの SNS 投稿が肖像権の侵害に当たる場合はそれらを禁止する。
- ・本要綱に定めのない不測の事態が生じた際には、大会本部、少年部に必ず報告、相談すること。またその際には関係者一同、誠意をもって協議し、円満に解決を図る事。

1 3. コロナ対策

- ・大会は『限定有観客試合』とするが、開催中に感染者増などで行政からの措置や宣言が発令された場合は、稲城市サッカー連盟役員の協議により『無観客試合』や大会そのものを『中止・延期』などに突然変更する場合がある。
- ・全ての会場において【試合会場】と【管理区域】を区分けし、それぞれに入場できる者を指定する。
試合会場：選手と、ベンチ入り可能な5名以内のスタッフ（指導者・割当て運営担当・割当て審判員全て含めて5名以内）及び連盟役員と連盟審判部員が入場可能。
管理区域：【無観客】の場合は上記の他3名までの選手の補助や荷物の番をするスタッフ。
管理区域：【限定有観客】の際は選手と同数の観戦者（付添いの必要な乳幼児は含まず）
- ・全ての来場者は「健康チェックシート」を持参しなければならず、当日のチーム責任者に提出し問題の無い（過去2週間において37.5℃以上の発熱無し）者だけが入場できる。
（医療機関の診察で問題なしと証明された場合を除く）
- ・全ての来場者は所定の【来場者名簿】に氏名と体温を記載し提出しなければならない。
（健康チェックシートは当日のチーム責任者が確認後は各個人に返却する）
- ・総合グラウンドにおいては専用の名簿に必要事項の記載提出と検温システムに従う。
- ・全ての来場者は入場の際に係による検温を受けて平熱の者のみ入場できる。退場し再入場の際でも再度検温を受ける。検温当番は駐車場当番同様に各チームに振り分ける。
- ・来場の全チームは石鹸・消毒液・体温計を持参し、全員がマスクを装着し感染対策する。
- ・全来場者はマスク必須だが、アップ時と試合の為の用具チェック時から試合に至る間のベンチ要員含めた選手と、試合時の審判員（競技のフィールド上から）はマスクを外す。
- ・形式的な挨拶（来場時の団体での挨拶や試合時の相手ベンチへの挨拶など）は無しとし、試合の開始と終了時はそれぞれ距離を取って一例のみで済ませる。
- ・ベンチの指導者や管理区域で観戦している者は大声での指示・応援はしない。試合時の選手以外、出来るだけ大声を出さない。目に余る場合は感染者対策責任者の権限で本部より退場を命じる場合もある。
- ・大会要項細則より、このコロナ対策を優先とするが、熱中症など、より生命の危険性が高い場面が生じた際は、そちらを優先とする。

以上2022年3月 稲城市サッカー連盟少年部